

# 「労福協の理念」「2030年ビジョン」のフレームワーク

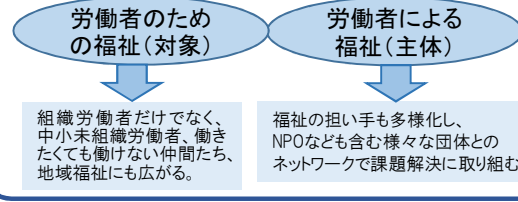
## 労福協の原点、創業の精神 ～福祉はひとつ

労働組合と労働者福祉事業団体が、組織の枠を超えて、福祉の充実と生活向上をめざすという一点で結集し、中央労福協を結成。

これからも、加盟団体の結束を強めるとともに、多様な団体や市民とそれぞれの取り組み課題に応じて「目的と目標、実現したい事柄で連携する」ことを大事にしていく。

## 労働者福祉運動とは

労働者が関与し、働く人たちの福祉(幸せ)の実現に取り組んでいく運動



## 2020年ビジョンの振り返りと課題

### 時代認識とめざした社会

・社会の持続性の危機がより深まる  
・国際協同組合年(2012年)、SDGs  
⇒ 協同組合への期待の高まり

### 労働運動・労働者福祉運動の課題

・労働運動や協同組合の役割の発揮  
・「ともに運動する」関係づくり

### 労福協に求められる役割・機能

・連携・ネットワークで広がる運動  
・ゆるやかな協議体としての特徴

### 2020年ビジョンの継承・深化 (連帯・協同を社会に根付かせていく)

・認知度の向上、組合員への浸透  
・「みんなで参加する」事業と運動  
・「共助の輪」の拡大

・「つなぐ」役割と「つながる」運動  
・労福協がもつ「よさ・強み」を活かす

## 時代や社会の変化と10年後を見据えて

### 深まる持続可能性の危機と改革の方向性

- 広がる格差と貧困、社会の分断 → 富を公正に分かち合う社会へ
- 強まる自己責任論 → 「助けて」と言える社会に
- 雇用の劣化と家計負担の限界 (雇用と社会保障、教育・住宅政策の連携) → 生活保障の再構築を
- 自然災害の多発と地球温暖化 → 自然と共生し、災害に強い社会へ
- 民主主義の危機 → 多様性を認め合う文化、参加型民主主義が息づく社会へ
- 依然として大きい男女間格差 → ジェンダー平等の社会へ

### これからの日本社会の課題への対応

- 超少子・高齢・人口減少社会 → 「家族で支える」から「地域・社会で支え合う」へ
- 社会的孤立の広がり → 持続可能な地域づくり  
・人々が「支え合う」共生社会へ
- 急速な技術革新の光と影 → 技術は人間の幸せや豊かさのために
- 協同組合の役割の発揮 → 総合的な協同組合促進政策  
・協同組合の横断的な連携
- 労働運動と協同組合のパートナーシップ → ディーセントワークの実現  
・協同組合の促進

## 労福協の理念

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、  
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります

## 2030年にめざす社会像

貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、  
平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会

## 2030年ビジョン

### 1. 多様なセーフティネットで、働くことや暮らしの安心を支えます。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 安心できる社会保障制度やセーフティネットを強化します
- (2) 貧困や社会的排除をなくし、格差を是正します
- (3) 学びと住まいのセーフティネットをつくります
- (4) 労働運動と消費者運動をつなぎます
- (5) 持続可能で、安心してくらせる社会をつくります

### 2. 労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、すべての人の暮らしを生涯にわたってサポートします。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 協同組合の基盤を強化し、活動領域を広げます
- (2) 協同組合の社会的価値と力量を高めます
- (3) 労働者福祉事業団体と労働組合との「ともに運動する」関係を強めます
- (4) 誰ひとり取り残さず、共助の輪を広げます

### 3. 地域の様々なネットワークで、支え合い、助け合う地域共生社会をつくります。

【ビジョンを実現するために】

- (1) ライフサポート活動のネットワークを広げ、地域の課題解決につなげます
- (2) すべての人にとって働きやすくくらしやすい地域共生社会をつくります
- (3) 福利厚生格差を是正し、中小企業や非正規雇用で働く人たちに拡充します

### 4. 労働者福祉運動を継承・持続するために、人材を育成し、財政基盤を確立します。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 運動を継承する人材を育成します
- (2) 労働者福祉運動への女性の参画を促進します
- (3) 財政基盤を確立します